

アセスメントツール導入に向けて

～乳幼児健診の現場から～

愛知県 大府市
健康福祉部 健康推進課

背景: あいち健康プラザ

1. 大府市の概要 (H22.10.1)

■ 人口: 86,000人

■ 高齢化率: 17.3%

■ 面積: 33.68km²

■ 新生児数: 1,010人 (H21)



■ 市制: S45.9.1

- ・ 第1次総合計画から「健康都市の実現」を都市目標に掲げている

S62 健康づくり都市宣言

H18 WHO健康都市連合加盟

■ 保健センター(健康推進課)

- ・ 職員: 18人

(うち保健師10、看護師2、

歯科衛生士1、管理栄養士1)

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

2. アセスメントツール導入の背景

① 発達障害者支援法の施行（平成16年12月10日）

《発達障害の定義》（2条1項）

- ・ 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの。

《国及び地方公共団体の責務》（3条1項）

- ・ 国及び地方公共団体は、発達障害の早期発見のため必要な措置を講じるものとする。
- ・ 発達障害児への支援（3条2項）

2. アセスメントツール導入の背景

② 乳幼児健診における課題

→ 発達障害児は知的障害を伴わない場合も多く、これまでの健診で発見されないケースが存在した。

→ 評価が保健師の経験則によることから、判定にバラツキがでる。

2. アセスメントツール導入の背景

③ モデル事業の提案

→ 中京大学・辻井教授から浜松医科大学・子どものこころの発達研究センターと共同研究を進める「1歳6か月児健診・3歳児健診におけるアセスメントツール導入及び該当となる母子支援の提案」があり、モデル事業として受け入れた。

■事業期間：2010年4月～2012年3月末

2. アセスメントツール導入の背景

- 発達障害者支援法の施行（平成16年12月10日）



- 乳幼児健診における課題



- モデル事業の提案



☆アセスメントツールの導入☆

3. 乳幼児健診の流れ

■ アセスメントツール導入前（1歳6か月児健診）

- 受付 : 事務職 ・ 母子健康手帳、問診票受取り
↓
- カンファレンス : 保健師, 看護師
↓
 - ・ 要支援児情報の共有
(心身の発達状況、虐待、母に支援要因あり) 等
- 健診①問診 : 保健師 ・ **保健師と親子との個別対応から児の様子を観察、気になる様子は連絡用紙に記入**
↓
 - ②身体測定 : 医師、③内科及び歯科健診 : 医師、歯科医師
- 個別指導 : 保健師, 心理士, 栄養士
↓
 - ・ 必要に応じて心理相談や栄養指導を実施
(**連絡用紙**)
- カンファレンス : 保健師, 栄養士, 心理士
↓
 - ・ フォロー内容の確認と情報共有
(**連絡用紙**)

健康診査調査票 (1歳6か月児健診用)

1面

1歳6か月児健康診査 (太枠の中を、裏表ご記入ください)

健康受診日	年	月	日	健診日月齢	歳	か月
ふりがな 児氏名	-----			男・女	生年月日	H 年 月 日
住所	町			電話	-	
同居家族	続柄	氏名	年齢	職業	健康状態	
	父					
	母					
日中の主な保育者は誰ですか	母・父・祖母・祖父・保育園、託児所など その他()					
保育園等	行っていない (園名) : 年 月から就園予定) 行っている (園名) : 年 月から就園)					

〈本日の計測〉

体重	身長	胸囲	頭囲
kg	cm	cm	cm

〈診察所見〉	医師	〈判定〉
運動機能 四肢	正・異	D 異常なし
精神発達	正・異	C 要指導
胸部 心音	正・異	B 要観察
呼吸音	正・異	A 要精検 要医療 要継続医療
胸部変形	正・異	
頭部	正・異	
頸部	正・異	
腹部	正・異	
泌尿生殖器	正・異	
顔面	正・異	
皮膚	正・異	
姿勢	正・異	

今までにかかった病気はありますか	・なし ・あり： はしか ・ 風疹 ・ 水ぼうそう ・ おたふくかぜ ・ 百日咳 その他 () ・ひきつけ： なし ・ あり 熱のある時 (回、最終 年 月) 熱のない時 (回、最終 年 月)		
現在治療中または様子を見ている病気はありますか	・なし ・あり 病名 () ()	病院名 () ()	受診状況 () () (通院： 回 / 月・週) () () (通院： 回 / 月・週)
今までの発達状況	・首すわり か月 ・寝がえり か月 ・おすわり か月 ・人見知り か月 ・後追い か月 ・ハイハイ か月 ・つかまり立ち か月 ・一人歩き 歳 か月 歩き方で気になることはありますか？ ()	予防接種の状況 接種済 ・ 未接種 BCG 済 ・ 未 三種混合 (1回目) 済 ・ 未 (2回目) 済 ・ 未 (3回目) 済 ・ 未 ポリオ (1回目) 済 ・ 未 (2回目) 済 ・ 未 MR (麻しん・風疹) 済 ・ 未	
心配なことや、相談したいことがあればご記入ください			

健診同伴者		
視線	あいさつ	発語
積み木 (個)	はめ板 ()	絵 (/ 6)
サイン		

No.

健康診査調査票（1歳6か月児健診用）

2面

質問項目	該当する項目に○をつけてください
1 スプーン・フォークを使って食べようとしていますか	1 はい ・ いいえ
2 母乳を飲んでいますか	2 いいえ ・ はい(いつ:)
3 哺乳びんを使っていますか	3 いいえ ・ はい(いつ:)
4 おやつを何回食べますか	4 1日 回 ・ 食べない
5 よく食べているおやつは何ですか	5 果物・ヨーグルト・アメ・チョコレート・ガム・アイス・スナック菓子・その他()
6 甘いお菓子を週5日以上食べますか	6 いいえ ・ はい
7 水分はどんなものをとりますか	7 ・牛乳(フォローアップミルク) ()ml ・ジュース ()ml ・乳酸菌飲料 ()ml ・スポーツドリンク ()ml ・お茶 ()ml ・その他() ()ml
8 甘い飲み物(乳酸菌飲料・ジュース・スポーツドリンク等)を週5日以上飲みますか	8 いいえ ・ はい
9 歯みがきをしていますか	9 ・している(1日 回 ・ 時々) 本人のみ ・ 本人と親 ・ 親のみ ・していない
10 指しゃぶりやおしゃぶりなどをしますか	10 ・いいえ ・はい 指しゃぶり・おしゃぶり・タオル・口唇・爪・その他()
11 なぐり書きをしますか	11 はい ・ いいえ
12 意味のあることばを話しますか 話すことばに○をつけてください	12 はい(歳 か月～) ・ いいえ マンマ・ワンワン・ケック・プープー・ネンネ パパ・ママ・カーサン・プー・ギウニュウ トット () その他()
13 簡単なことば、命令がわかりますか 「ゴミボイ」「○○もってきて」など	13 はい ・ いいえ
14 迷子になりやすいですか	14 いいえ ・ はい
15 落ち着きなく動き回りますか	15 いいえ ・ はい
16 主に誰と、どのような遊びをしていますか	16 父・母・兄弟・友達・祖母・祖父 その他() 室内 [] 戸外 []

17 児童センターや公園に子どもを連れて遊びに行くことがよくありますか	17 はい ・ いいえ
18 1日の日課(起床・就寝・昼寝・食事・おやつ・遊び等)を下の時間表に記入してください	6時 9時 12時 15時 18時 21時 24時
1日にテレビ・ビデオなどを見る時間 時間	
19 かかりつけ医がありますか	19 ある ・ ない
20 育児に協力してくれる人はいますか お子様からみた続柄でご記入ください	20 いる ・ いない 父・母・祖母・祖父・その他()
21 育児について相談できる人はいますか お子様からみた続柄でご記入ください	21 いる ・ いない 父・母・祖母・祖父・その他()
22 子育てが楽しいと思える時がありますか	22 よくある ・ ときどき ・ あまり ・ ない ある ない

※担当した保健師が所見や判定を書き込む

サイン

No.

3. 乳幼児健診の流れ

■ アセスメントツール導入前（3歳児健診）

- 受付 : 事務職 ・ 母子健康手帳、問診票の受け取り
- ↓ **集団遊び** : 保育士, 保健師 ・ **課題を出して児の様子を観察**
- カンファレンス : 保健師, 看護師
- ↓
 - ・ 要支援児情報の共有
 - (心身の発達状況、虐待、母に支援要因あり) 等
- 健診①**問診** : 保健師 ・ **保健師と親子との個別対応から児の様子を観察、気になる様子は連絡用紙に記入**
- ↓
 - ②身体測定 : 医師、③内科及び歯科健診 : 医師、歯科医師
- 個別指導 : 保健師, 心理士, 栄養士
- ↓
 - ・ 必要に応じて心理相談や栄養指導を実施
 - (**連絡用紙**)
- カンファレンス : 保健師, 栄養士, 心理士
- ↓
 - ・ フォロー内容の確認と情報共有
 - (**連絡用紙**)

4. アセスメントツールの導入

① M-CHATとは (1歳6か月児健診で使用)

Modified Checklist for Autism in Toddlers

直訳すると・・・「幼児自閉症用の修正リスト」

- ・主に18ヶ月から36ヶ月の乳幼児を対象とし、自閉症スペクトラムとしての特徴を持つか否かを評価するための尺度として作成されたもの。

4. アセスメントツールの導入

② PARSとは (3歳児健診で使用)

PDD - ASJ Rating Scales

(Pervasive Developmental Disorders Autism Society Japan
Rating Scale)

「広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度」

- ・ 高機能自閉症やアスペルガー症候群などで見られる、自閉症スペクトラム全体に利用可能な、支援ニーズを評価するための尺度として、作成されたもの。

4. アセスメントツールの導入

③ **アセスメントツール導入後の健診の流れ** (3歳児健診)

受付 : 事務職 ・ 母子健康手帳、問診票の受け取り
↓ **集団遊び** : 保育士, 保健師 ● 課題を出して児の様子を観察
カンファレンス : 保健師, 看護師 ● 要支援児情報の共有
↓ (心身の発達状況、虐待、母に支援要因あり) 等
健診 ① **問診** : 保健師 **★1. PARSの主旨説明、12項目の聞き取り**
● 保健師と親子との個別対応から児の様子を観察 → 連絡用紙
↓ ② 身体測定 : 医師、③ 内科及び歯科健診 : 医師、歯科医師
★2. PARSのチェック : 心理士 ★心理士による再チェック →
↓ **OCR読取 → 個別表 プリントアウト → 判定 → 説明**
個別指導 : 保健師, 心理士, 栄養士
↓ ・ 必要に応じて心理相談や栄養指導を実施
(**個別表、連絡用紙**)
カンファレンス : 保健師, 栄養士, 心理士
・ フォロー内容の確認と情報共有
(**個別表、連絡用紙**)

4. アセスメントツールの導入

④ ★ PARSの判定方法

- ★ 1 (1) 問診で保健師が12項目の聞き取りを行い、マークシートをチェックする。
- ★ 2 (2) 児を面接しながら心理士が判断し、必要があればマークシートを修正する。
- (3) OCR読み取りする。
- (4) 読取状況を確認し、個別表（判定）をプリントアウトする。
- (5) 保健師の連絡用紙を確認する。
- (6) 連絡用紙及び判定を基に、支援が必要な児の保護者に支援方針を伝え了解を得る。
- (7) 事後グループでの支援に該当する方には、その主旨を説明し了解を得る。
- (8) 個人カルテにマークシート原本と判定表を綴り、母子健康手帳といっしょに並べる。

※ 所要時間：3～4分/1人

■ 個別表(判定)

M-CHAT(1歳6か月児健診用)

番号 1 1 0 0 8 2 7 0 1 5 2	チェック済み ★
全23項目が3ポイント、重要項目が2ポイントの場合は、事後グループのお誘いかもしくは電話フォローの対象となります。	全項目 ポイント 4 重要項目 ポイント 4
質問内容(太字黒塗り表示)	ポイント
1. お子さんをブランコのように揺らしたり、ひざの上で遊ぶのを嫌がりますか？	
2. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	
3. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	★
4. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	★
5. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	
6. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	
7. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	
8. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	
9. お子さんがお話を聞いているときに、お話を聞かずに遊びをしまわたり、おもちゃを投げますか？	
10. 1. 2秒より長く、あなたの目を見つめますか？	
11. ある種の音に、とくに過敏に反応して不機嫌になりますか？(耳をふさぐなど)	
12. あなたがお子さんの顔をみたり、笑いかけると、笑顔を返してきますか？	
13. あなたのすることをまねますか？(たとえば、口をとがらせてみると、顔まねしようしますか？)	★
14. あなたが名前を呼ぶと、反応しますか？	
15. あなたが部屋の中の離れたところにあるおもちゃを指でさすと、お子さんはその方向を見ますか？	★
16. お子さんは歩きますか？	
17. あなたが見ているモノを、お子さんも一緒にみますか？	
18. 顔の近くで指をひらひら動かすなどの変わった癖がありますか？	
19. あなたの注意を自分の方にひこうとしますか？	
20. お子さんの耳が聞こえないのではないかと心配されたことがありますか？	
21. 言われた言葉をわかっていますか？	
22. 何もない宙をじいっと見つめたり、目的なくひたすらうろろろすることがありますか？	
23. いつもと違うことがある時、あなたの顔をみて反応を確かめますか？	

3項目以上または重要10項目中2項目に「いいえ(×)」が付くと不通過・要観察となる

PARS(3歳児健診用)

番号 3 1 0 0 8 1 1 0 1	合計 6
全12項目24ポイント中、5ポイント以上が事後グループへのお誘いの対象になります。	
質問内容	ポイント
1. 名前を呼んでも振り向かない。	
2. 視線が合わない。	
3. 指差して興味があるものを伝えない。	
4. 同じ質問をしつこくする。	★
5. 普段通りの状況や手順が急に変わると混乱する。	★
6. 言葉の遅れがある。	
7. 会話が続かない。	
8. 一方通行に言いたいことだけを言う。	★
9. オウム返し of 応答が目立つ。	★
10. 友達とごっこ遊びをしない。	
11. 他の子どもに興味がない。	★
12. CMなどをそのままの言葉で繰り返して言う。	★

合計5点以上は不通過または要観察となる

5. 導入時の準備

モデル事業受入れについての理事者協議



① 医師会との調整



② 職員研修



③ 医師勉強会



④ 保護者への説明

5. 導入時の準備

① 医師会との調整

医師会から医師の派遣を受けて乳幼児健診を実施

→ **事前に了承を得ておくことが必要**

- 乳幼児健診にM-CHAT/PARSを導入すること。
- 導入に際しては「モデル事業」としたうえで、外部の医師が事後フォロー教室に参加すること。

5. 導入時の準備

② 職員研修

対象：乳幼児健診に携わる職員（臨時職員を含む）
事後フォローに携わる保育園及び児童課職員

内容：M-CHAT/PARS導入の主旨及び健診の流れ
項目ごとの判定基準と問診の方法
デモンストレーションとロールプレイによる実技（3時間×2回）

講師：中京大学 辻井正次 教授
国立精神・神経センター精神保健研究所 神尾陽子 部長
浜松医科大学子ども心の発達研究センター職員

5. 導入時の準備

③ 医師勉強会

対象：市医師会に加盟している全医師

**内容：M-CHAT／PARSの内容と導入の意義
及び実証効果（2時間）**

講師：中京大学 辻井正次 教授

5. 導入時の準備

④ 保護者への説明

対象：1歳6か月児及び3歳児健対象者の保護者

内容：保護者に不安や疑問を生じさせないために、アセスメント実施の意味を説明する。

方法：個別通知している受診案内に説明文を同封して郵送する。

案内文書:「発達に関するアンケート・問診は、育てにくさ、かわりにくさのあるお子さんを早くに見つけ、お子さんの特性に応じた子育てを、一緒に考えさせていただくために行うものです」

また、健診当日にも再度説明をしている。

6. 導入後の変化

■精神発達において要観察となった児 (A)

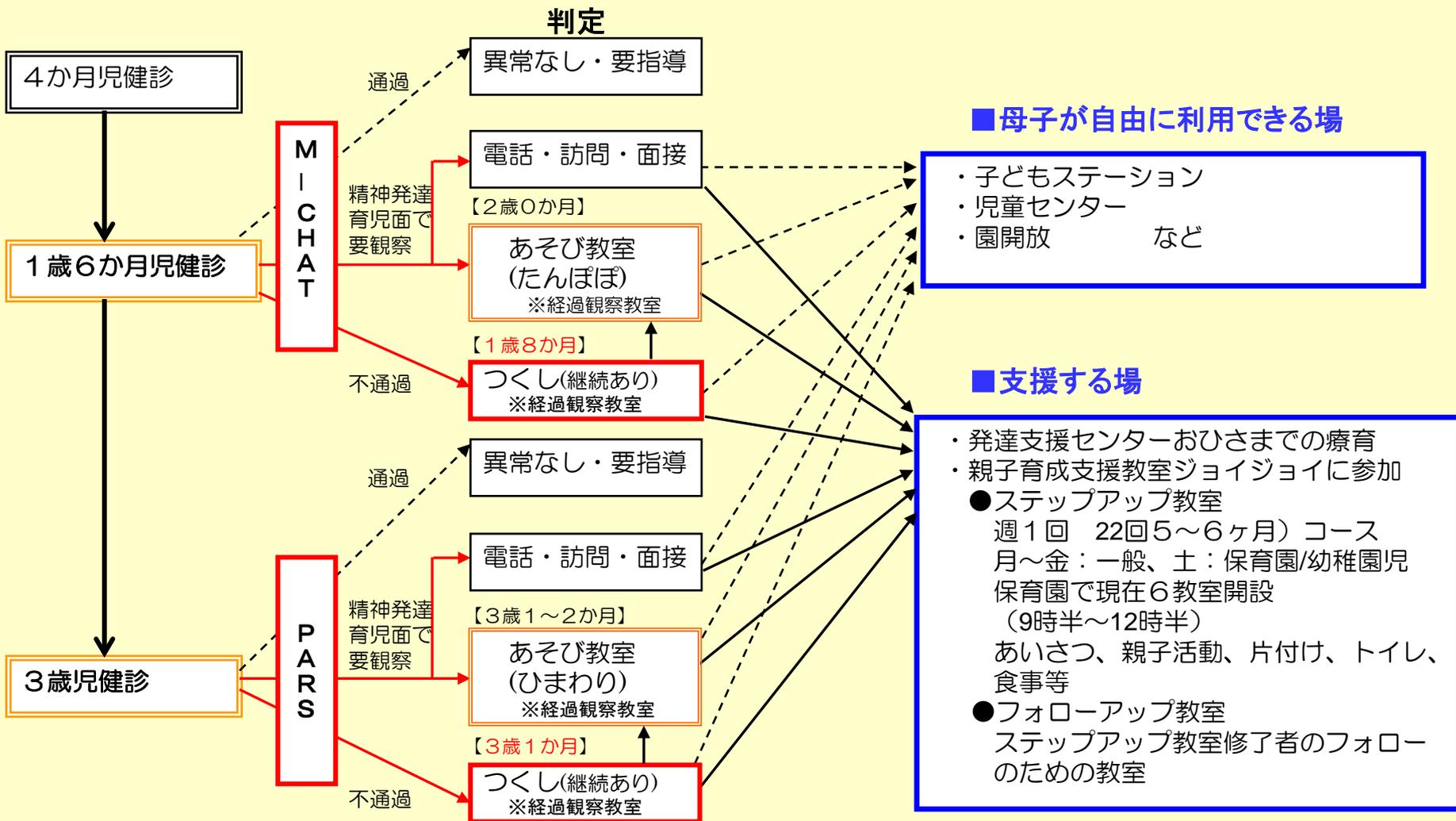
	H21年 7～11月			H22年 7～11月		
	受診者 (人)	(A)	出現率 (%)	受診者 (人)	(A)	出現率 (%)
1歳6か月児	436	135	30.96	426	162	38.02
3歳児	392	38	9.69	382	88	23.03

※1. 要観察とは、健診後に電話・面接・事後教室等、何らかの支援の対象者とした場合を意味する。

※2. 出現率の増加については、スクリーニング方法の違いによる誤差と考えているが、**3歳児の増加については注目**している。

7. 健診後のフォロー体制と 全体のフロー図

-----> 異常なし又は要指導(事後の支援は不要の方)
 -----> 要観察



8. 評価

① 評価する点

- ・スタッフが共通した基準（認識）で評価できる。
- ・評価が客観的に行える。
- ・スタッフの経験値に評価が左右されない。
- ・数値で評価結果を提示できるため、スタッフと保護者の間で課題が共有しやすく、事後フォローにつなげやすい。

② 解決すべき課題

- ・健診1人あたりの時間が増加する。
- ・要観察児が増え、事後フォローの負担も増加する。
- ・数値で評価結果を提示できるため、保護者の不安が増大する、あるいは評価内容を受け入れられず、支援を拒否することもある。

9. まとめ(今後の方向)

☆ 幼児健診にアセスメントツールを導入することは

相応の負担を伴うが

発達障害が気になる児の早期発見及び支援に対して

事後フォローの場の提供及び支援情報の提供と

一対となることで効果を発揮する

→ 住民にとって有益となる

背景:大府市役所庁舎

ご清聴ありがとうございました

アセスメントツール導入に向けて
～モデル事業の現場から～